

寝屋川市立幼稚園・保育所の 現状と課題

目次

1 寝屋川市の状況

- (1) 人口動態
- (2) 就学前子どもの人口動態
- (3) 労働力人口及び労働力率（女性）の推移
- (4) 共働き世帯の推移

2 市立幼稚園の現状

- (1) 施設数と利用園児数
- (2) 市立幼稚園の在園児数及び利用率の推移

3 市立保育所の現状

- (1) 施設数と利用児童数
- (2) 市立保育所の利用児童数及び利用率の推移

4 就学前施設就園状況の推移

- (1) 幼稚園の推移
- (2) 保育所、認定こども園の推移
- (3) 市立・私立の推移

5 教育・保育の量の見込みと確保対策

- (1) 幼稚園、認定こども園（幼稚園部分）【1号認定】
- (2) 保育所、認定こども園（保育所部分）等【2・3号認定】

6 市立就学前施設の課題

1 寝屋川市の状況

(1) 人口動態

市制施行時（昭和 26 年）に約 3 万 5 千人であった人口は、高度経済成長期を経て大幅に増加し、昭和 40 年に 10 万人を、昭和 50 年に 25 万人を超えました。特に昭和 40 年から昭和 45 年までの 5 年間では、人口が約 11 万人から約 20 万人まで、およそ 2 倍の急激な人口増加となりました。

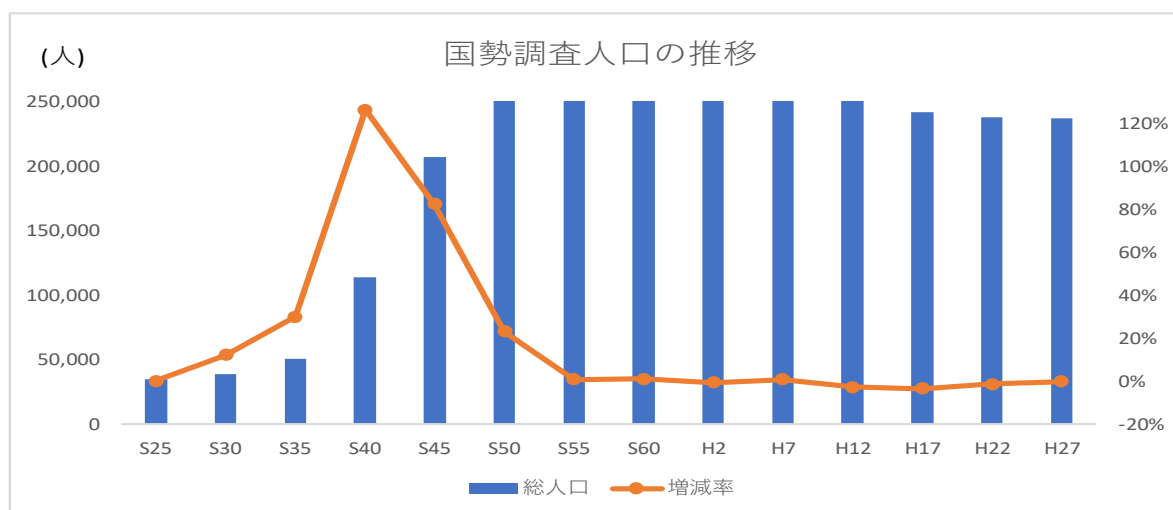
昭和 50 年以降、約 25 万人から 26 万人で推移する状況が続き、平成 7 年の約 26 万人をピークに減少に転じました。バブル経済崩壊による地価下落など、都心の住宅供給の増加による都心回帰現象の影響もあり平成 12 年、平成 17 年と人口減少率は約 3 パーセントとなっています。

その後も人口は減少していますが、寝屋川市駅及び香里園駅の各駅前再開発事業など魅力あるまちづくり等により、平成 27 年の人口減少率は約 0.3 パーセントにとどまっており、令和 2 年現在の住民基本台帳人口は約 23 万 1 千人となっています。なお、今後も減少傾向は続くと推計されており、国立社会保障・人口問題研究所の平成 30 年の推計によると、2045 年（令和 27 年）には 17 万人を割り込むものと見込まれています。

■国勢調査人口の推移

(単位:人)

年次	S25	S30	S35	S40	S45	S50	S55
総人口	34,492	38,668	50,188	113,576	206,961	254,311	255,859
増減率	-	12.1%	29.8%	126.3%	82.2%	22.9%	0.6%
年次	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27
総人口	258,228	256,524	258,443	250,806	241,816	238,204	237,518
増減率	0.9%	-0.7%	0.7%	△3.0%	△3.6%	△1.5%	△0.3%

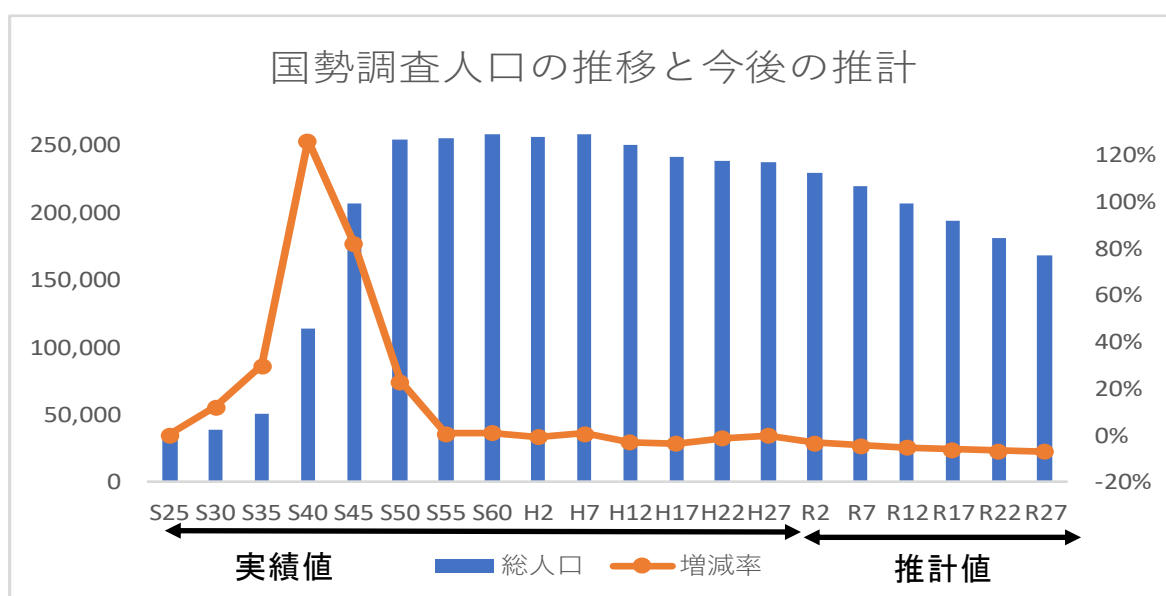


■ 国勢調査人口の推移と今後の推計

(単位:人)

年次	S25	S30	S35	S40	S45	S50	S55
総人口	34,492	38,668	50,188	113,576	206,961	254,311	255,859
増減率	-	12.1%	29.8%	126.3%	82.2%	22.9%	0.6%
年次	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27
総人口	258,228	256,524	258,443	250,806	241,816	238,204	237,518
増減率	0.9%	△0.7%	0.7%	△3.0%	△3.6%	△1.5%	△0.3%
年次	R2	R7	R12	R17	R22	R27	
推計人口	229,745	219,332	207,363	194,336	181,198	168,335	
増減率	△3.3%	△4.5%	△5.5%	△6.3%	△6.8%	△7.1%	

※R2以降は、国立社会保障・人口問題研究所の平成30年の推計



(2) 就学前子ども人口動態

就学前子どもに当たる本市の0歳から5歳の人口は、昭和50年に38,342人となり、総人口が平成7年にピークを迎えたのと比較し、早くにピークを迎えています。その後、減少傾向にあり、平成27年には9,520人となり、ピーク時の昭和50年と比較して約4分の1となっています。

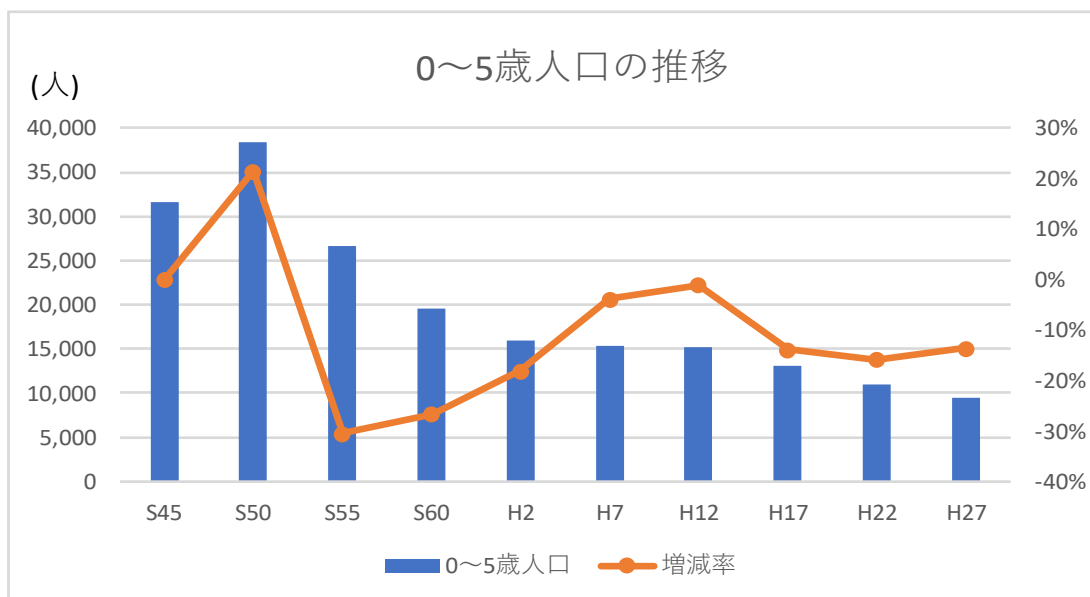
今後の傾向も減少傾向にあり、国立社会保障・人口問題研究所の平成30年の推計によると、2045年(令和27年)には4,288人となり、昭和50年のピーク時と比較して約7分の1以下になるものと見込まれます。

■0～5歳人口の推移

(単位:人)

年次	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12
0～5歳人口	31,571	38,342	26,646	19,541	16,010	15,393	15,225
増減率	-	21.4%	△30.5%	△26.7%	△18.1%	△3.9%	△1.1%
年次	H17	H22	H27				
0～5歳人口	13,107	11,022	9,520				
増減率	△13.9%	△15.9%	△13.6%				

(国勢調査人口)

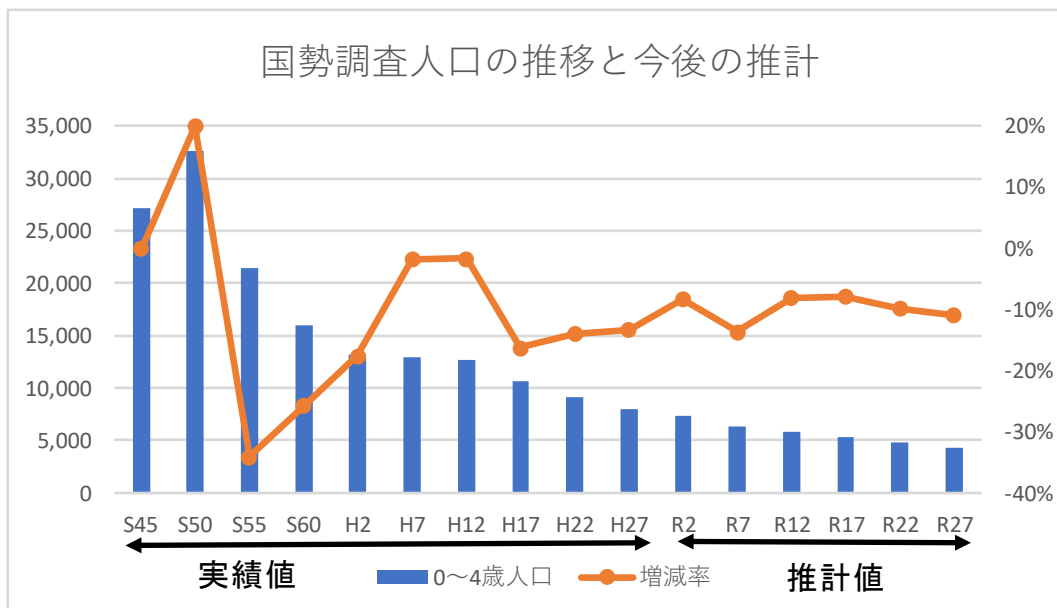


■国勢調査人口の推移と今後の推計

(単位:人)

年次	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12
0～4歳人口	27,166	32,594	21,492	15,975	13,177	12,943	12,731
増減率	-	20.0%	△34.1%	△25.7%	△17.5%	△1.8%	△1.6%
年次	H17	H22	H27				
0～4歳人口	10,665	9,183	7,957				
増減率	△16.2%	△13.9%	△13.3%				
年次	R2	R7	R12	R17	R22	R27	
0～4歳推計人口	7,297	6,304	5,794	5,335	4,812	4,288	
増減率	△8.3%	△13.6%	△8.1%	△7.9%	△9.8%	△10.9%	

※R2以降は、国立社会保障・人口問題研究所の平成30年の推計



(3) 労働力人口及び労働力率（女性）の推移

本市においても女性の社会進出は顕著であり、女性の労働力率※は、上昇しています。平成27年の直近値は昭和50年と比較して約1.8倍に増加しています。

※労働力率

15歳以上の人口に占める「労働力率」（15歳以上の人口のうち、「就業者」と「完全失業者」を合わせたもの）の割合のこと。

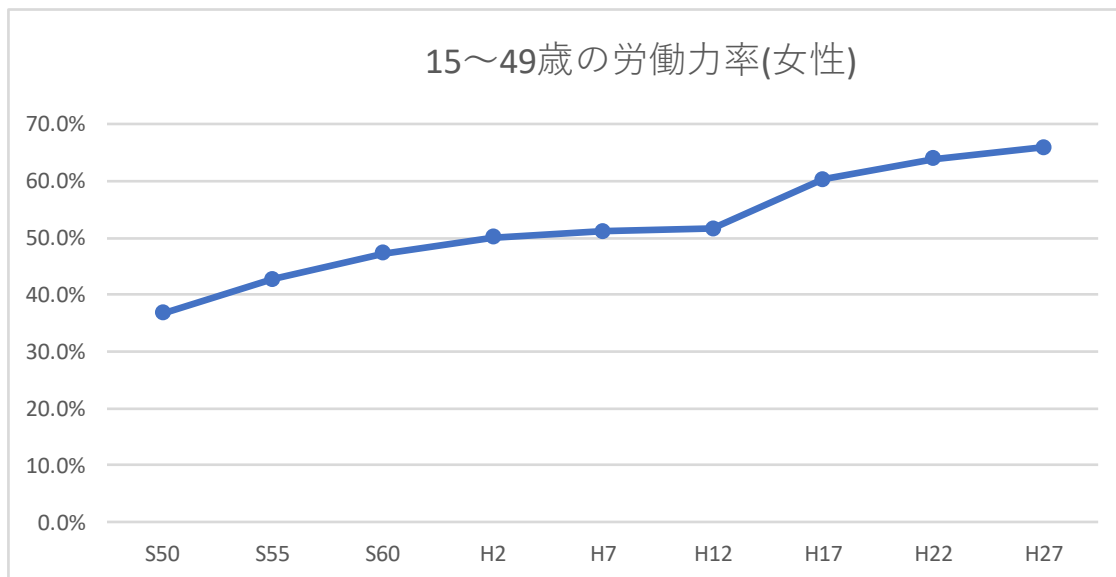
■女性（15～49歳）の労働力人口の推移

(単位:人)

年次	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17
15～49歳の人口(女性)	72,715	71,619	72,583	73,003	68,660	59,344	53,247
15～49歳の労働力人口(女性)	26,732	30,615	34,297	36,566	35,117	30,666	32,079
労働力率	36.8%	42.7%	47.3%	50.1%	51.1%	51.7%	60.2%
年次	H22	H27					
15～49歳の人口(女性)	47,793	43,537					
15～49歳の労働力人口(女性)	30,535	28,714					
労働力率	63.9%	66.0%					

(国勢調査)

※15～49歳の人口(女性)は、労働力状態「不詳」を除く。



(4) 共働き世帯の推移

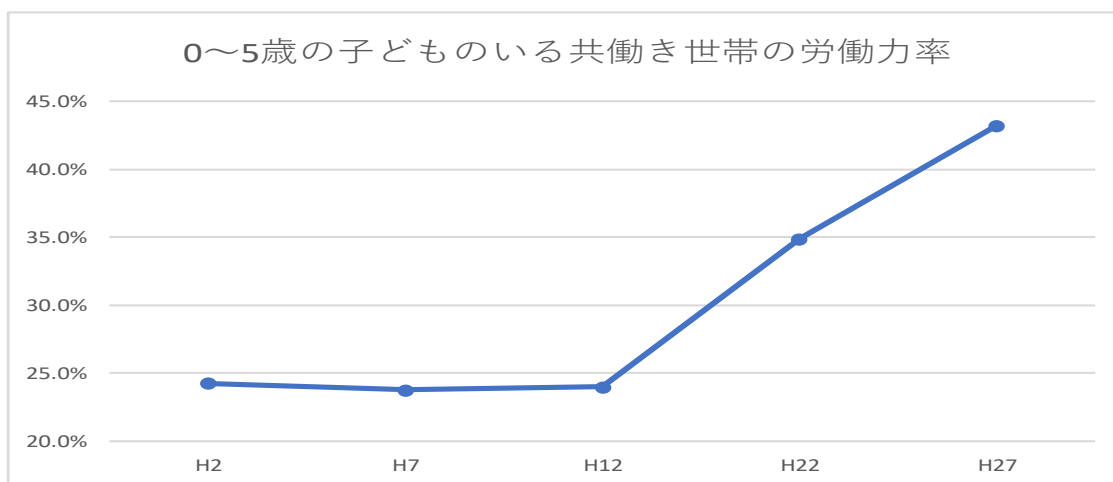
0歳から5歳の子どものいる共働きの世帯の割合は増加しており、平成27年の直近値は平成2年と比較して約1.8倍に増加しています。

■ 共働き世帯の推移

(単位:世帯)

年次	H2	H7	H12	H22	H27
配偶者のいる一般世帯数(0～5歳の子どもあり)	11,332	10,872	10,621	7,782	6,670
配偶者ともに就労者世帯数(0～5歳の子どもあり)	2,745	2,584	2,547	2,714	2,885
労働力率	24.2%	23.8%	24.0%	34.9%	43.3%

(国勢調査)



2 市立幼稚園の現状

(1) 施設数と利用園児数

現在市立幼稚園は市内に4園設置されており、1学級あたりの定員は35名としています。令和2年5月1日現在の園児数は119名となっています。

定員に対する園児数の割合を示す充足率について、4歳児で11.9%、5歳児で16.0%、全体で14.2%と大幅な定員割れが生じています。

■市立幼稚園の就園状況

(令和2年5月1日時点)

幼稚園名		定員	在園児数	充足率
北幼稚園	4歳児	105	19	18.1%
	5歳児	105	33	31.4%
	合計	210	52	24.8%
中央幼稚園	4歳児	70	11	15.7%
	5歳児	105	20	19.0%
	合計	175	31	17.7%
南幼稚園	4歳児	105	6	5.7%
	5歳児	140	5	3.6%
	合計	245	11	4.5%
啓明幼稚園	4歳児	105	10	9.5%
	5歳児	105	15	14.3%
	合計	210	25	11.9%
園合計	4歳児	385	46	11.9%
	5歳児	455	73	16.0%
	合計	840	119	14.2%

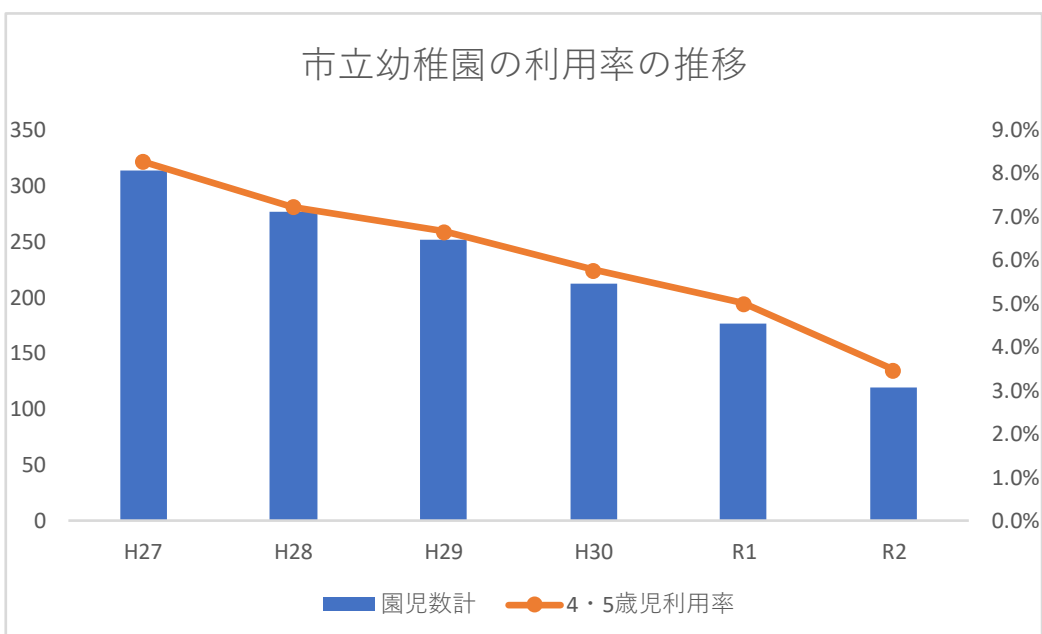
※定員は、寝屋川市幼稚園条例施行規則で定める収容最大員数。

(2) 市立幼稚園の在園児数及び利用率の推移

在園児数及び利用率は年々減少傾向にあり、平成27年に314名であった在園児数が、令和2年には119名となり、平成27年に8.3%であった4・5歳児利用率が、令和2年には3.5%となっています。また、市内在住の4歳・5歳児も減少傾向にあり、平成27年に3,792名であった4歳・5歳児が、令和2年には3,433名となっています。

■市立幼稚園の利用率の推移

	H27	H28	H29	H30	R1	R2
4歳園児数	136	134	105	104	76	46
5歳園児数	178	142	147	108	100	73
園児数計	314	276	252	212	176	119
4歳児数	1,912	1,924	1,897	1,810	1,735	1,716
5歳児数	1,880	1,899	1,910	1,884	1,789	1,717
4・5歳児数計	3,792	3,823	3,807	3,694	3,524	3,433
4歳児利用率	7.1%	7.0%	5.5%	5.7%	4.4%	2.7%
5歳児利用率	9.5%	7.5%	7.7%	5.7%	5.6%	4.3%
4・5歳児利用率	8.3%	7.2%	6.6%	5.7%	5.0%	3.5%



3 市立保育所の現状

(1) 施設数と利用児童数

現在市立保育所は市内に6箇所設置されており、定員は合計で750人として
います。令和2年4月1日現在の利用児童数は694人となっています。

定員に対する児童数の割合を示す充足率について、0歳児で84.8%、1歳
児で112.8%、2歳児で120.7%、3歳児で85.1%、4歳児で85.4%、5歳
児で79.2%、全体で92.5%となっており、年度途中の入所もあることもあ
り、おおむね定員数どおりの運営となっています。

■市立保育所の利用状況

(令和2年4月1日時点)

保育所名		定員	利用児童数	充足率
さくら保育所	0歳児	4	4	100.0%
	1歳児	16	15	93.8%
	2歳児	18	19	105.6%
	3歳児	26	19	73.1%
	4歳児	28	19	67.9%
	5歳児	28	22	78.6%
	合計	120	98	81.7%
たんぽぽ保育所	0歳児	3	4	133.3%
	1歳児	14	14	100.0%
	2歳児	14	22	157.1%
	3歳児	29	25	86.2%
	4歳児	30	26	86.7%
	5歳児	30	23	76.7%
	合計	120	114	95.0%
さつき保育所	0歳児	10	5	50.0%
	1歳児	24	23	95.8%
	2歳児	26	27	103.8%
	3歳児	30	25	83.3%
	4歳児	30	27	90.0%
	5歳児	30	26	86.7%
	合計	150	133	88.7%
さざんか保育所	0歳児	10	5	50.0%
	1歳児	23	24	104.3%
	2歳児	26	27	103.8%
	3歳児	30	30	100.0%
	4歳児	30	30	100.0%
	5歳児	31	30	96.8%
	合計	150	146	97.3%
コスモス保育所	0歳児	3	5	166.7%
	1歳児	6	15	250.0%
	2歳児	11	18	163.6%
	3歳児	23	20	87.0%
	4歳児	23	20	87.0%
	5歳児	24	18	75.0%
	合計	90	96	106.7%
あざみ保育所	0歳児	3	5	166.7%
	1歳児	11	15	136.4%
	2歳児	16	21	131.3%
	3歳児	30	24	80.0%
	4歳児	30	24	80.0%
	5歳児	30	18	60.0%
	合計	120	107	89.2%
保育所合計	0歳児	33	28	84.8%
	1歳児	94	106	112.8%
	2歳児	111	134	120.7%
	3歳児	168	143	85.1%
	4歳児	171	146	85.4%
	5歳児	173	137	79.2%
	合計	750	694	92.5%

※定員は、寝屋川市立保育所条例施行規則で定める定員。

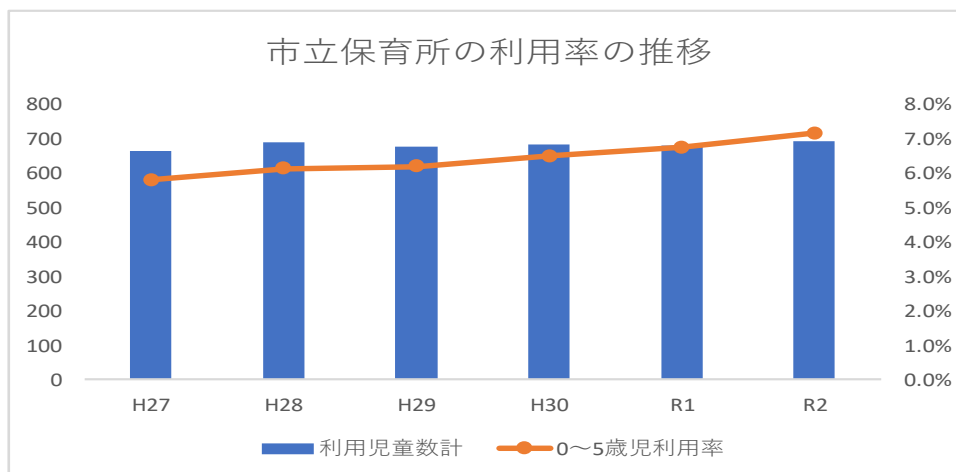
(2) 市立保育所の利用児童数及び利用率の推移

利用児童数及び利用率は年々増加傾向にあり、平成 27 年に 664 人であった利用児童数が、令和 2 年には 694 人となり、平成 27 年に 5.8%であった利用率が、令和 2 年には 7.2%となっています。また、市内在住の小学校就学前児童数は減少傾向にあり、平成 27 年は 11,451 人でしたが、令和 2 年には 9,675 名となっています。

■市立保育所の利用率の推移

(各年4月1日時点)

	H27	H28	H29	H30	R1	R2
0歳児利用児童数	35	37	29	32	36	28
1歳児利用児童数	89	99	100	104	108	106
2歳児利用児童数	130	125	124	130	128	134
3歳児利用児童数	134	142	130	130	143	143
4歳児利用児童数	137	144	145	138	131	146
5歳児利用児童数	139	145	151	151	136	137
合計	664	692	679	685	682	694
0歳児数	1,864	1,839	1,719	1,594	1,542	1,445
1歳児数	1,868	1,855	1,822	1,720	1,605	1,555
2歳児数	1,955	1,831	1,809	1,774	1,687	1,584
3歳児数	1,972	1,929	1,803	1,763	1,743	1,658
4歳児数	1,912	1,924	1,897	1,810	1,735	1,716
5歳児数	1,880	1,899	1,910	1,884	1,789	1,717
合計	11,451	11,277	10,960	10,545	10,101	9,675
0歳児利用率	1.9%	2.0%	1.7%	2.0%	2.3%	1.9%
1歳児利用率	4.8%	5.3%	5.5%	6.0%	6.7%	6.8%
2歳児利用率	6.6%	6.8%	6.9%	7.3%	7.6%	8.5%
3歳児利用率	6.8%	7.4%	7.2%	7.4%	8.2%	8.6%
4歳児利用率	7.2%	7.5%	7.6%	7.6%	7.6%	8.5%
5歳児利用率	7.4%	7.6%	7.9%	8.0%	7.6%	8.0%
合計	5.8%	6.1%	6.2%	6.5%	6.8%	7.2%



[参考] 市内保育施設の利用率の推移（市立保育所・私立保育園・私立認定こども園（1～3号）・事業所内保育事業所の合計）

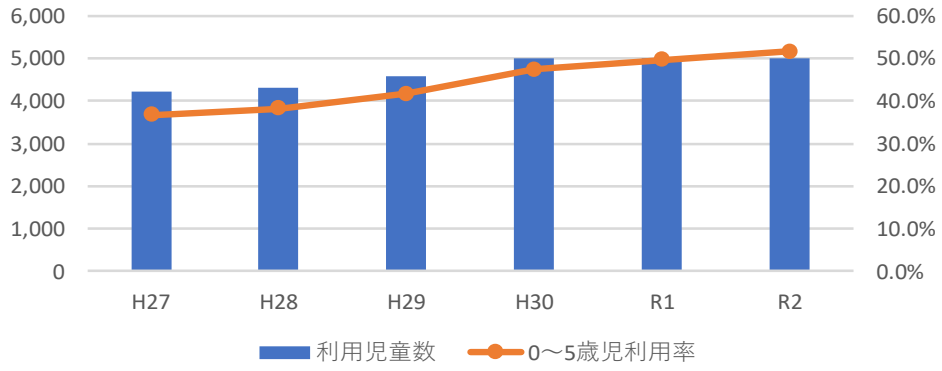
■ [参考] 市内保育施設の利用率の推移

（市立保育所・私立保育園・私立認定こども園（1～3号）・事業所内保育事業所の合計）

（各年4月1日時点）

	H27	H28	H29	H30	R1	R2
0歳児利用児童数	209	240	217	219	233	203
1歳児利用児童数	676	682	691	703	715	697
2歳児利用児童数	814	814	822	899	867	864
3歳児利用児童数	868	865	917	1,044	1,095	1,066
4歳児利用児童数	823	881	946	1,051	1,051	1,112
5歳児利用児童数	820	835	981	1,081	1,052	1,057
合計	4,210	4,317	4,574	4,997	5,013	4,999
0歳児数	1,864	1,839	1,719	1,594	1,542	1,445
1歳児数	1,868	1,855	1,822	1,720	1,605	1,555
2歳児数	1,955	1,831	1,809	1,774	1,687	1,584
3歳児数	1,972	1,929	1,803	1,763	1,743	1,658
4歳児数	1,912	1,924	1,897	1,810	1,735	1,716
5歳児数	1,880	1,899	1,910	1,884	1,789	1,717
合計	11,451	11,277	10,960	10,545	10,101	9,675
0歳児利用率	11.2%	13.1%	12.6%	13.7%	15.1%	14.0%
1歳児利用率	36.2%	36.8%	37.9%	40.9%	44.5%	44.8%
2歳児利用率	41.6%	44.5%	45.4%	50.7%	51.4%	54.5%
3歳児利用率	44.0%	44.8%	50.9%	59.2%	62.8%	64.3%
4歳児利用率	43.0%	45.8%	49.9%	58.1%	60.6%	64.8%
5歳児利用率	43.6%	44.0%	51.4%	57.4%	58.8%	61.6%
合計	36.8%	38.3%	41.7%	47.4%	49.6%	51.7%

市内保育施設の利用率の推移
(市立保育所・私立保育園・私立認定こども園(1～3号)・
事業所内保育事業所の合計)



4 就学前施設就園状況の推移

(1) 幼稚園の推移

平成 27 年からの 6 年間で市立幼稚園については、統合により施設数が減少し、1 園あたりの園児数は約 63 人から約 30 人となっています。私立幼稚園については、認定こども園への移行により施設数が減少し、1 園あたりの園児数は約 290 人から約 285 人となっています。

(2) 保育所、認定こども園の推移

平成 27 年からの 6 年間で市立保育所については、施設数に増減はなく、1 所あたりの子どもの数は約 111 人から約 116 人となっています。私立保育所については、認定こども園への移行により施設数が減少し、1 所あたりの子どもの数は約 97 人と同数となっています。認定こども園については、私立幼稚園、私立保育所からの移行により施設数は増加し、1 園あたりの子どもの数は 157 人から約 115 人となっています。

(3) 市立・私立の推移

市立・私立の区分で推移をみると、平成 27 年度では 981 人だった市立の就学前施設の人数が、統合、園児数の減少等により 813 人となっています。私立の就学前施設の人数は、就学前子どもの減少もあり 5,865 人から 5,704 人となっています。

■4・5歳児の就学前施設就園状況の推移

(市立幼稚園、私立幼稚園は各年5月1日時点、他施設及び歳児数は各年4月1日時点)

		H27	H28	H29	H30	R1	R2
市立幼稚園	4歳児	136	134	105	104	76	46
	5歳児	178	142	147	108	100	73
	合計	314	276	252	212	176	119
	施設数	5	5	5	5	5	4
私立幼稚園	3歳児	721	745	618	515	489	419
	4歳児	826	773	707	566	527	491
	5歳児	772	822	680	599	555	516
	合計	2,319	2,340	2,005	1,680	1,571	1,426
	施設数	8	8	7	5	5	5
市立保育所	0歳児	35	37	29	32	36	28
	1歳児	89	99	100	104	108	106
	2歳児	130	125	124	130	128	134
	3歳児	137	142	130	130	143	143
	4歳児	137	144	145	138	131	146
	5歳児	139	145	151	151	136	137
	合計	667	692	679	685	682	694
	施設数	6	6	6	6	6	6
私立保育所	0歳児	170	197	155	133	113	92
	1歳児	563	565	461	393	317	268
	2歳児	659	665	535	509	386	345
	3歳児	701	689	550	474	419	339
	4歳児	653	699	554	504	391	368
	5歳児	643	655	579	492	398	337
	合計	3,389	3,470	2,834	2,505	2,024	1,749
	施設数	35	35	28	25	20	18
認定こども園	0歳児	4	6	33	51	81	80
	1歳児	24	18	130	196	278	314
	2歳児	25	24	163	250	339	371
	3歳児	33	34	237	440	532	584
	4歳児	33	38	247	409	529	597
	5歳児	38	35	251	438	518	583
	合計	157	155	1,061	1,784	2,277	2,529
	施設数	1	1	9	15	20	22
私立保育所内保育事業所	0歳児	0	0	0	3	3	3
	1歳児	0	0	0	10	12	9
	2歳児	0	0	0	10	14	14
	3歳児	0	0	0	0	1	0
	4歳児	0	0	0	0	0	1
	5歳児	0	0	0	0	0	0
	合計	0	0	0	23	30	27
	施設数	0	0	0	2	2	2
就学前施設利用者	0歳児	209	240	217	216	230	200
	1歳児	676	682	691	693	703	688
	2歳児	814	814	822	889	853	850
	3歳児	1592	1610	1535	1559	1583	1485
	4歳児	1,785	1,788	1,758	1,721	1,654	1,648
	5歳児	1,770	1,799	1,808	1,788	1,707	1,646
合計	6,846	6,933	6,831	6,866	6,730	6,517	
0歳児数	1,864	1,839	1,719	1,594	1,542	1,445	
1歳児数	1,868	1,855	1,822	1,720	1,605	1,555	
2歳児数	1,955	1,831	1,809	1,774	1,687	1,584	
3歳児数	1,972	1,929	1,803	1,763	1,743	1,658	
4歳児数	1,912	1,924	1,897	1,810	1,735	1,716	
5歳児数	1,880	1,899	1,910	1,884	1,789	1,717	
0～5歳児数計	11,451	11,277	10,960	10,545	10,101	9,675	
市立就学前施設	0歳児	35	37	29	32	36	28
	1歳児	89	99	100	104	108	106
	2歳児	130	125	124	130	128	134
	3歳児	137	142	130	130	143	143
	4歳児	273	278	250	242	207	192
	5歳児	317	287	298	259	236	210
	合計	981	968	931	897	858	813
私立就学前施設	0歳児	174	203	188	184	194	172
	1歳児	587	583	591	589	595	582
	2歳児	684	689	698	759	725	716
	3歳児	1,455	1,468	1,405	1,429	1,440	1,342
	4歳児	1,512	1,510	1,508	1,479	1,447	1,456
	5歳児	1,453	1,512	1,510	1,529	1,471	1,436
合計	5,865	5,965	5,900	5,969	5,872	5,704	

※施設数は市内就学前施設数

※私立認定こども園は1・2・3号認定

※受託児童含む

5 教育・保育の量の見込みと確保対策

(1) 幼稚園、認定こども園（幼稚園部分）【1号認定】

【事業概要】

満3歳以上で保育を必要としない(1号認定及び2号認定で教育を希望する者)、小学校就学前の子どもが利用できます。

【実績】

各年5月1日現在における在籍者数・定員

		(人・か所)				
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
実績	1号認定					
	2号認定相当※1					
	合計(A)	2,782	2,791	2,634	2,500	2,315
確保量	特定教育・保育施設※2	515	480	829	1,221	1,216
	上記以外の施設※3	3,273	3,289	3,270	2,140	2,175
	市外施設	523	559	510	482	419
	合計(B)	4,311	4,328	4,609	3,843	3,810
過不足(B-A)		1,529	1,537	1,975	1,343	1,495
市内実施個所数		14	14	21	24	29

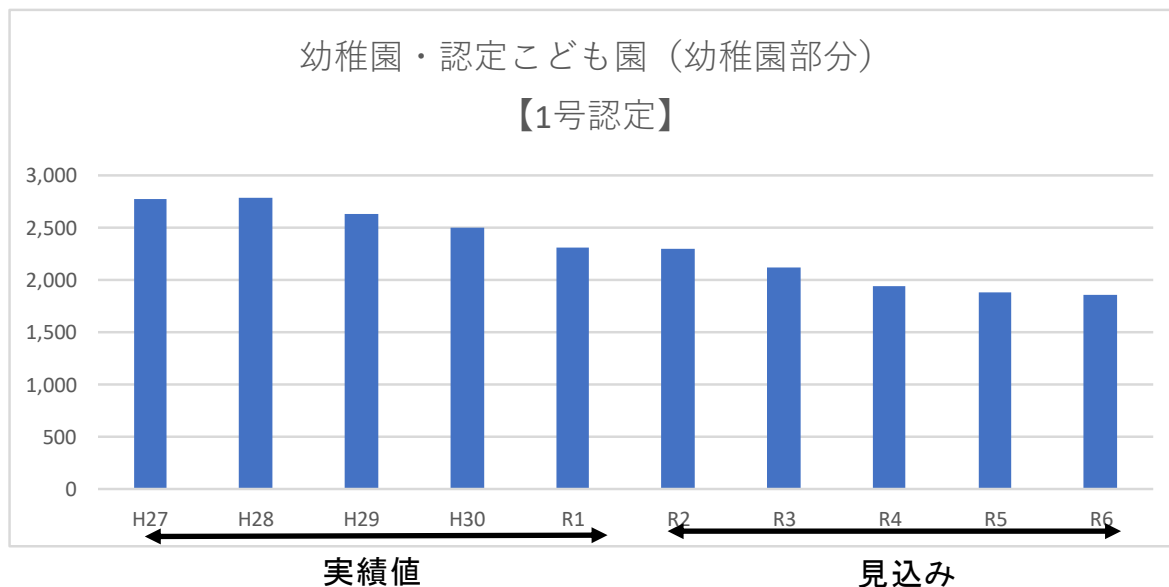
(寝屋川市第2期子ども・子育て支援事業計画)

- ※1 保護者の就労時間が2号認定相当の時間であっても、幼稚園の利用のみを希望する場合は、1号認定となります。
- ※2 子ども・子育て支援新制度に伴い、新たに創設された財政支援の仕組みである「施設型給付」の対象となる施設。
- ※3 保護者の就労時間が2号認定相当の時間であっても、幼稚園の利用のみを希望する場合は、3号認定となります。

【量の見込みと確保方策】(市域全体)

		(人・か所)				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見込み	1号認定	1,715	1,578	1,445	1,406	1,384
	2号認定相当	586	539	496	481	472
	合計(A)	2,301	2,117	1,941	1,887	1,856
(確保方策)	特定教育・保育施設	1,188	1,188	1,188	1,188	1,188
	上記以外の施設	2,175	2,175	2,175	2,175	2,175
	市外施設	419	419	419	419	419
	合計(B)	3,782	3,782	3,782	3,782	3,782
過不足(B-A)		1,481	1,665	1,841	1,895	1,926
市内実施個所数		30	30	30	30	30

(寝屋川市第2期子ども・子育て支援事業計画)



(2) 保育所、認定こども園（保育所部分）等【2・3号認定】

【事業概要】

保護者が就労や疾病等により、保育を必要とする0～5歳（2号認定（3～5歳）及び3号認定（0～2歳））の子どもが利用できます。

【実績】

各年4月1日現在における在籍者数・定員

		(人・か所)				
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
実績	2号認定(3～5歳)	2496	2581	2622	2645	2673
	3号認定(0歳)	211	241	227	219	232
	3号認定(1・2歳)	1491	1508	1562	1612	1584
	合計 [Ⓐ]	4,198	4,330	4,411	4,476	4,489
確保量	2号認定(3～5歳)	2,418	2,444	2,479	2,593	2,613
	3号認定(0歳)	348	349	349	350	352
	3号認定(1・2歳)	1,499	1,532	1,557	1,551	1,568
	合計 [Ⓑ]	4,265	4,325	4,385	4,494	4,533
過不足(Ⓑ－Ⓐ)		67	△5	△26	18	44
市内実施個所数		42	42	43	51	52

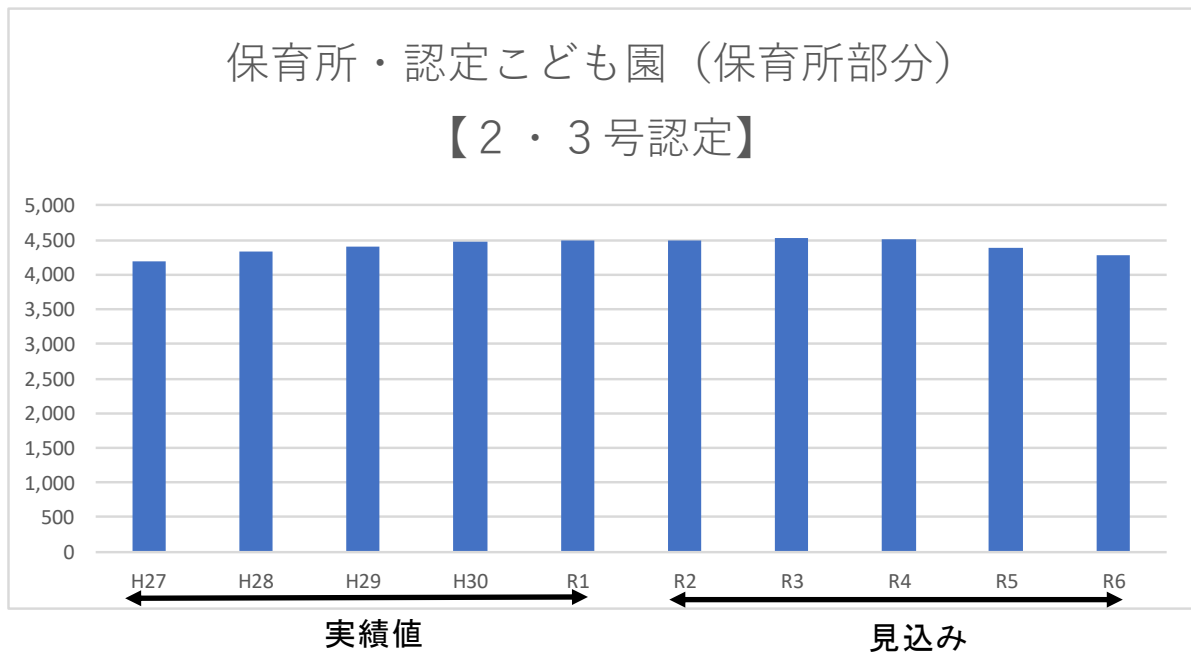
(寝屋川市第2期子ども・子育て支援事業計画)

【量の見込みと確保方策】(市域全体)

(人・か所)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見込みの量	2号認定(3~5歳)	2,676	2,651	2,575	2,503	2,460
	3号認定(0歳)	252	257	249	240	232
	3号認定(1・2歳)	1,565	1,621	1,681	1,645	1,590
	合計①	4,493	4,529	4,505	4,388	4,282
(確保方策) 提供量	2号認定(3~5歳)	2,676	2,656	2,607	2,607	2,607
	3号認定(0歳)	254	257	249	249	249
	3号認定(1・2歳)	1,607	1,624	1,681	1,681	1,681
	合計②	4,537	4,537	4,537	4,537	4,537
過不足(②-①)		44	8	32	149	255
市内実施個所数		53	53	53	53	53

(寝屋川市第2期子ども・子育て支援事業計画)



6 市立就学前施設の課題

国立社会保障・人口問題研究所の平成 30 年の推計では、就学前子どもの人口は減少し続けるものの、社会情勢の変化により、女性の労働力率及び共働き世帯率が上昇し、保育ニーズは高まるものとされています。

市第 2 期子ども・子育て支援事業計画では、市立幼稚園が該当する 1 号認定子どもは今後も減少するものと見込まれており、市立保育所が該当する 2・3 号認定子どもについても、令和 3 年度をピークに減少に転じるものと見込まれています。

市立幼稚園では、平成 27 年度と比較して、1 園当たりの在園児数が 2 分の 1 以下となり、定員に対する充足率が 14.2% と大幅な定員割れが生じています。

市立保育所では、おおむね定員数どおりの運営ができていますが、今後の人口減少を勘案しつつ、市立保育所が果たすべき役割を担った運営が必要となります。

保護者の働き方の変化や令和元年度からの幼児教育・保育の無償化、認定こども園の増加といった社会情勢に大きな変化に対応するため、幼稚園・保育所の枠組みにとらわれず就学前全体で課題を共有し、対応していくことが必要と考えられます。